

番号	必要書類	様式番号	提出の要否	留意事項	提出確認欄		官用欄	
					いずれか選択	過去に提出した申請日及び申請番号		
	次のAからBまでのいずれかの場合に応じた書類							
1	A)申請人が技能実習2号良好修了者(2年10か月以上)の場合	※③のみ参考様式第1-2号	△ (注1)	※希望する業務区分に試験免除となる職種・作業の技能実習は、「特定の分野に係る特定技能外国人受入れに関する運用要領-電気・電子情報関連産業分野の基準について-」の別表を参照 ※技能実習生に関する評価調書の発行が受けられない場合には申請前に地方出入国在留管理局に相談してください。 ※今回の所属機関が申請人を技能実習生として受け入れたことがある場合であって、所属機関が技能実習法の「改善命令」や旧制度の「改善指導」を過去1年以内に受けていないときに限り提出省略可	有	無	有	無
	B)申請人が上記に該当しない場合	製造分野特定技能1号評価試験の合格証明書の写し ※希望する業務区分に応じたものに限る。	○		有	無	有	無
		次の①又は②のいずれか ①日本語能力試験(N4以上)の合格証明書の写し ②国際交流基金日本語基礎テストの合格証明書(判定結果通知書)の写し		○	※職種・作業にかかわらず技能実習2号良好修了者の場合には提出不要。ただし、技能実習2号良好修了者であることを証明する書類の提出が必要	有	無	有
2	電気・電子情報関連産業分野における特定技能外国人の受入れに関する誓約書	分野参考様式第5-1号	○		有	無	有	無
3	協議会の構成員であることの証明書		○	※令和3年3月1日以降の申請については、一律に提出(初めて電気・電子情報関連産業分野で受け入れる場合には申請前の協議会加入手続)が必要  ※令和3年2月26日までの申請については、特定技能外国人の初回の受入れから4か月以内に協議会加入手続を行い、4か月経過後の申請時に提出が必要	有	無	有	無